



FreeStyle リブレLink 使い方ガイド



FreeStyle
リブレLink



life. to the fullest.®

Abbott

製品をご使用の際は、必ず添付文書と取扱説明書をあわせてご確認ください。

お困りのときは
こちらへ………
p2

アプリのDLと
アカウント作成
p2

センサーの
装着・交換……
p4

スマートフォン
での測定………
p6

スキャン履歴・
レポートの確認
p7

医療従事者への
データ共有……
p8

Q & A
………
p10

お困りのときはこちらへ

お客様
相談窓口

0120-37-8055

営業時間 8:00-20:00 (平日) 8:00-17:00 (祝日) ※土日除く

アプリの
ダウンロード

アプリストアで「**リブレLink**」と検索するか、
QRコードよりアクセスしてください。



<https://www.myFreeStyle.jp/patient/freestyle-libre-link/download.html>

※ご使用には、NFC設定を有効にすることが必要です。

※スマートフォン使用推奨環境に関する情報は、弊社ウェブサイトでご確認ください。

製品情報
サイト

フリースタイルリブレ

検索

<https://www.myFreeStyle.jp/>

使用方法
動画

患者さん・ご家族の皆さま向けサイト内で

サポート ▶ **使用・活用方法動画一覧** より確認できます。

https://www.myFreeStyle.jp/patient/support/movie_freestylelibrelink.html



アプリのダウンロードとアカウント作成

- FreeStyle リブレLinkの使用には、NFC搭載のスマートフォンが必要となります。アプリはお使いのスマートフォンのOSによりiOS、Android™それぞれのアプリストアよりダウンロードいただけます。

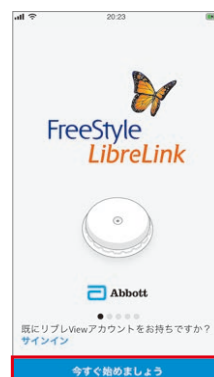
※最新のご利用環境については弊社Webサイトよりご確認ください。

アプリストアで「**リブレLink**」と検索するか、
QRコードよりアクセスしてください。



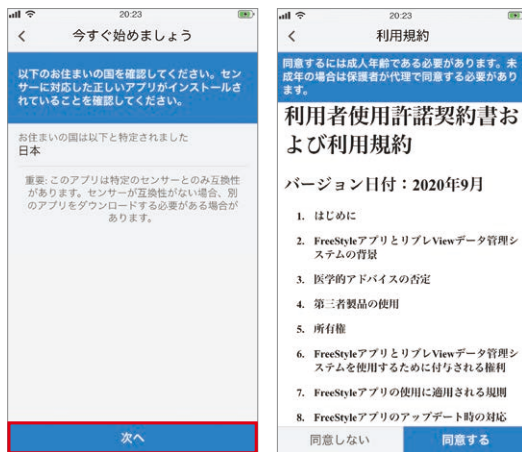
- ダウンロードしたアプリをタップして立ち上げます。
最初にリブレViewへのアカウント登録を行います。
一番下の「**今すぐ始めましょう**」をタップし進めます。

※すでにリブレViewアカウントをお持ちの方は「サインイン」より登録済みのアカウント情報をご入力ください。



3

お住まいの国が「日本」であることを確認して「次へ」をタップしてください。次の画面で利用規約・プライバシーポリシーを確認してください。



4

メールアドレス、氏名・生年月日等、必要事項を入力し、アカウントを作成します。



5

測定単位が正しいことを確認し、レポートに使用する目標範囲の設定、食事量の入力に使用する炭水化物量の単位を設定します。

※目標範囲は医療従事者に確認のもと、設定してください。



6

これですべての設定が完了です。概要を説明する画面が表示されますので、確認のうえ、センサーの装着へ進んでください



センサーの装着・交換

新しいセンサーの装着



センサーパック



センサー
アプリケーター

- ・センサーパックとセンサーアプリケーターのセンサーコードが一致していることを確認してください。
- ・センサーパックまたはセンサーアプリケーターに破損が見られたり、開封されている場合は使用しないでください。

1

インスリン注入部位から
2.5cm 以上離してください



石鹸と水で清浄してからアルコール綿で上腕の後ろ側を拭き、しっかり乾かします。

※センサー装着部位として、ほくろ、傷跡などは避けてください。

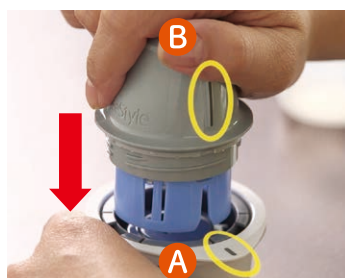
2



センサーパック（以降A）のフタをはがし、センサーアプリケーター（以降B）のキャップを回して外します。

3

針に注意



テーブルなど平らで硬い場所の上で、Aの黒線マークにBの黒線マークを合わせ、Bを上から強く、止まるまで押し下げます。
Bを持ち上げて準備完了です。

4



Bを腕にあて、センサーが装着されるまで下までしっかりと押し込み、その後、そっと引き離します。

5



しっかり装着されていることを確認してください。

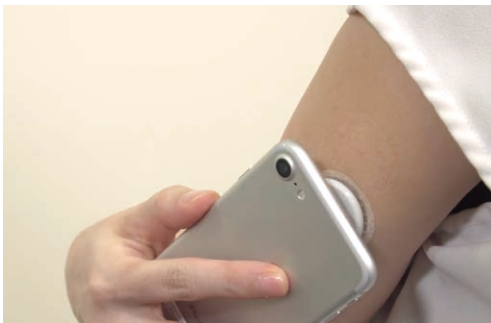
6



センサーを装着したら、アプリを起動し、お手持ちのスマートフォンのガイドに沿って、「**新しいセンサーをスキャン**」をタップします。Androidはタップは不要です。

7

服の上からでもスキャンできます



スマートフォンをセンサーに近づけてスキャンします。

※ Readerと併用する場合は、必ず先に Reader でセンサーの起動を行ってください(▶p10参照)。

8



センサーの起動が完了するまで60分間待ちます。その後、グルコース値の測定が可能になります(▶p6参照)。

センサーの測定結果と一致しない症状がある場合は、血糖自己測定器を併用してください。

使い終わったセンサーの取り外し



センサーの**使用期間が終了する前に必ずセンサーをスキャンしてグルコース値を記録**してください。

画面に「**センサー終了**」と表示されたら、センサーの粘着部の端を引き上げてセンサーを取り外します。

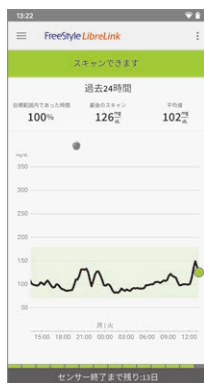
※皮膚に残った粘着剤は温かい石鹸水またはアルコール綿で拭き取ってください。

※センサー内部にはボタン電池が内蔵されています。

お住まいの地域の規則あるいは各医療機関の指示に従って廃棄してください。

スマートフォンでの測定

1 スマートフォンのアプリを起動してください。



◀Android
Androidはスマートフォンのロックが解除されており、バックグラウンドでアプリが起動されていればアプリを立ち上げなくてもスキャン可能です。



▶iOS
グルコース値測定モードにし、「スキャンの準備ができました」が表示されていることを確認してください。

2 スマートフォンをセンサーに近づけて、グルコース値をスキャンします。

▼Android



Android端末の背部をセンサーに近づけてスキャンします(2回のブザー音と振動があるまでお待ちください)。

* Android機器の端末により場所が異なる可能性があります。ご使用端末のNFCセンサー位置を確認ください。

▼iOS

服の上からでも測定できます



iPhoneはボタンを押してからiPhoneの上部をセンサーに近づけてスキャンします。

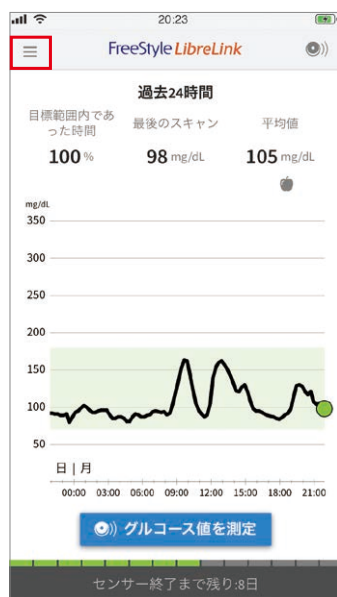
3 現在のグルコース値と過去8時間分の変動を示すグラフなどが表示されます。



少なくとも8時間に1回の測定で連続的なデータが記録できます。

スキャン履歴・レポートの確認

1 アプリのホーム画面で、「メニューアイコン」をタップしてください。

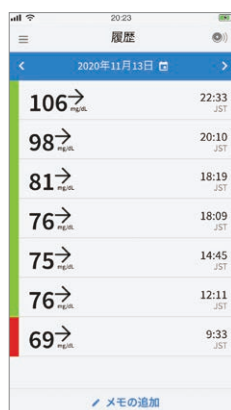


2 履歴や様々なレポート項目が表示されます。確認したい項目をタップしてください。

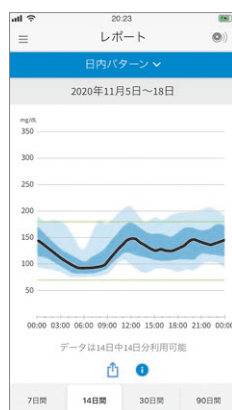


レポート例

履歴

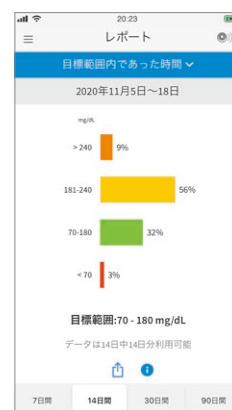


日内パターン (AGP)



※日内パターンの表示には少なくとも5日分のグルコースデータが必要です。

目標範囲内であった時間 (TIR)



各レポートはデータ表示期間も選択することができ、様々な角度から血糖トレンドの状況や使用状況を振り返ることで、日常の糖尿病自己管理にご活用いただけます。

医療従事者へのデータ共有

医療施設が「リブレView」を使用している場合、スキャンやメモなどアプリに入力した情報を、医療従事者にデータ共有することができます。データ共有が可能かは医療従事者にご確認ください。

医療プラクティスIDを入力して連携

1 データを連携するには「メニューアイコン」をタップし、「アプリ連携済み」を選択します。



2 「リブレView」を「連携する」を選択します。



招待メールを承諾して連携

医療機関から招待メールを受信※

※招待メールは「@libreview.io」のドメインより届きます。



メール内の「招待を承諾する」をクリックすると、Web（リブレView）にアクセスし、Web上でログインして承認も可能です。

1 メールを受信したら、アプリの「メニューアイコン」をタップし、「アプリ連携済み」を選択します。



2 「リブレView」を「管理」を選択します。



3 医療施設で提供された「医療プラクティスID」を入力し、データ連携をします。



4 データ連携後は、自身が測定したデータやレポートに担当医師、医療従事者が「リブレView」を通してアクセスすることが可能となります。

※来院時のデータ提供が不要となります。



3 招待されている「医療プラクティス」の名称をタップします。「医療プラクティス」名、住所、電話番号を確認後、「承諾する」をタップし、データ連携をします。



4 データ連携後は、自身が測定したデータやレポートに担当医師、医療従事者が「リブレView」を通してアクセスすることが可能となります。

※来院時のデータ提供が不要となります。



FreeStyle リブレ Q & A

Q ReaderとFreeStyleリブレ Linkを併用するには？

必ずセンサーの起動を Reader→FreeStyle リブレ Linkの順に実施する必要があります。
FreeStyle リブレ Linkで先に起動したセンサーはReaderには反応しません。



先に ReaderでFreeStyle リブレ センサーを起動

- FreeStyle リブレセンサーを Reader でスキャンする



続いて同じFreeStyle リブレセンサーを FreeStyle リブレ Linkでも起動

- Readerでのスキャンの後、FreeStyle リブレ Linkでのスキャン
- センサーの準備完了まで待つ
- Reader・FreeStyle リブレ Linkそれぞれが準備完了をお知らせ

ReaderとFreeStyle リブレ Linkを併用するときの注意点

FreeStyle リブレ Link アプリではReader のデータは統合できません。それぞれの読取装置で8時間以内にスキャンをしないと連続的なデータが装置上で確認できません。リブレ View にデータアップロードをすることで、両方の読取装置のレポートやデータの確認、管理が可能です。

Q FreeStyle リブレ Link アプリは どのような情報を収集し、その情報はどのような？

FreeStyle リブレ Link アプリは、アカウント情報、グルコースデータ、メモ、センサー情報をスマートフォンのアプリ内に保存します。そのため、個人情報保護のためのスマートフォンへのアクセス制限などは患者さんご自身の責任となります。
また、アプリはこれらのデータを安全なクラウドベースのデータベースであるリブレ View に自動的にアップロードします。詳細については、プライバシーポリシーをご確認ください。

Q インターネット通信環境がない場所でのFreeStyleリブレLinkの使用は可能？

グルコース値の測定にインターネット接続は必要ありません。アプリのダウンロードや設定の際にはインターネットに接続できる状態で行ってください。

Q スマートフォンを紛失、変更したときは？

新しいスマートフォンに改めてFreeStyle リブレLinkアプリをインストールし、すでに作成済みのアカウントIDでサインインしてご利用ください。

※使用中のセンサーはセンサーの期限まで使用可能です。

※インストールしなおしたアプリ内では、過去のデータは確認できません。確認をしたい場合はリブレView上からご確認ください。

※複数のスマートフォンから同じIDでログインして使用することはできません。

Q センサーを装着したままできる？

入浴
シャワー
水泳

いずれも可能で、水深1メートル、30分間までは問題なくご使用いただけます。

ただし、Readerは水に濡らさないよう注意してください。

X線
MRI
CTスキャン

これらの検査がセンサーにどのような影響を及ぼすかについては評価されていません（試験による）。検査を受けるときはセンサーを取り外し、検査後は新しいセンサーを装着してください。

飛行機の
搭乗

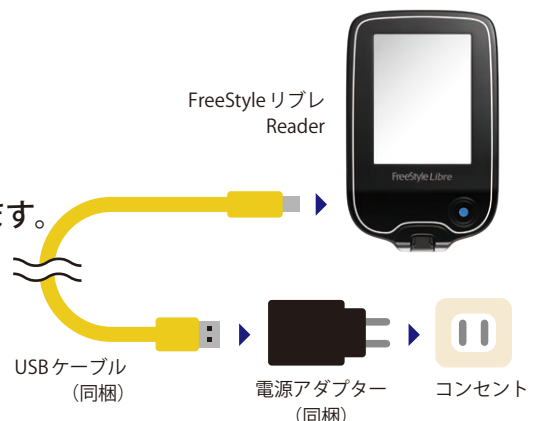
セキュリティシステムを通過する際には、保安検査係員にFreeStyle リブレを装着していることをお伝えください。機内では乗務員による指示に従って、搭乗中もシステムを使用することができます。規則や規制は、通告なく変更される場合があるため、ご出発前に航空会社にご確認ください。

Q Readerの充電方法は？

Reader、USBケーブル、電源アダプターを右のようにつなぎます。

充電したReaderは約7日間使用可能です。

スマートフォンの場合は、お使いの携帯電話会社の取扱説明書に沿って充電してください。



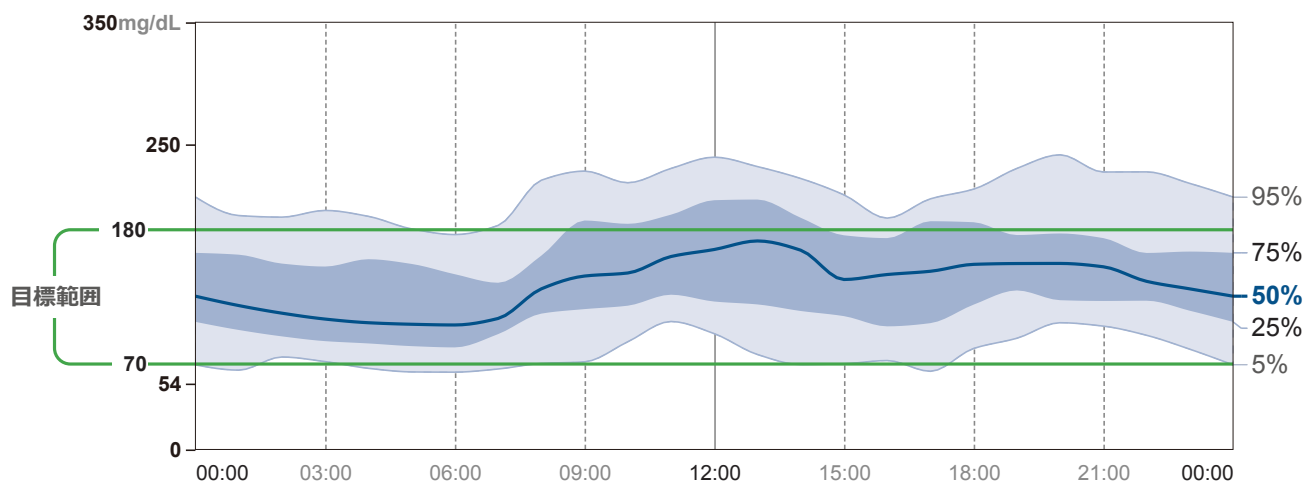
リブレViewについて

リブレViewは「自分の行動を振り返りやすいレポート」を提供し、より良い糖尿病自己管理をサポートするためのデータ管理システムです。

リブレViewは血糖トレンドを「見える化」します

血糖トレンドとは、1日のうちで血糖値がどのように変動しているかという傾向のことです。リブレViewでは、AGP (Ambulatory Glucose Profile) という解析方法を活用して、日中および夜間の血糖トレンドを「見える化」するレポートを確認できます。

AGP グラフの例



リブレView アカウント登録方法

リブレViewご利用にあたってはアカウント登録が必要となります。

※ FreeStyle リブレLink ですでにアカウントを作成済みの方は新たに作成する必要はありません。

<https://www.LibreView.com>へ
アクセス(または「LibreView」で検索)、
「新規登録」より、
「リブレView アカウント」として
登録します。




FreeStyle リブレ Link ご利用の場合

FreeStyle リブレ Link で作成したアカウントでログインしていただくだけで、
様々なレポートをご確認いただけます。 ※データは自動でアップロードされます。

Reader をご利用の場合

リブレView デバイスドライバーのインストール(初回のみ)

Reader よりデータをアップロードするためには、
使用する PC へのリブレView デバイスドライバーのインストールが必要です。

- 1** 画面左上の「測定器のアップロード」
アイコン  を選択します。




- 2** アップロード画面のページより
「リブレView デバイスドライバーを
ダウンロードする」リンクをクリックします。



データアップロード (通常)

レポートを入手するために、以下の手順で PC に接続し、データアップロードを行います。

- 1** FreeStyle リブレ Reader 等の測定器を
専用ケーブルで PC に接続後、画面左上の
「測定器のアップロード」アイコン  を
選択し、画面中央左の
「押してアップロードを開始」を選択します。



- 2** 「LibreViewDeviceDrivers を
開きますか?」の表示が現れるので
「開く」を選択します。

※チェックボックスを選択しておけば、次回以降
は表示されません。



Readerでの血糖自己測定

下記の場合は血糖自己測定が必要となります

- ・センサーにより得られた低血糖又は低血糖の可能性について確認する場合。
- ・センサーの測定結果と一致しない症状がある場合、又は測定値の正確性に疑問がある場合。

画面表示例



⚠ 低グルコース

(グルコース値が70mg/dLより低い)

⚠ グルコース値が低下

(グルコース値が15分以内に70mg/dLより低くなると予測)

測定結果と一致しない症状がある、または測定値の正確性に疑問がある時



LO (測定値が40mg/dLより低い) **HI** (測定値が500mg/dLより高い)

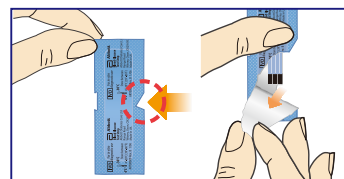
FreeStyle リブレ Readerでの血糖自己測定の方法

1 手と測定部位をアルコール綿で拭き、乾かします。

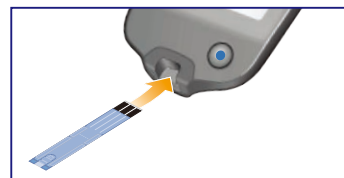
2 電極の使用期限を確認します。

3 電極のホイル包装を切れ目から破り、電極を取り出します。

※取り出した後はすぐに電極を使用してください。



4 電極の先端にある黒い3本線を表に向けて、Readerの電極挿入口に差し込みます (止まるところまで)。血液滴下マークが表示されます。

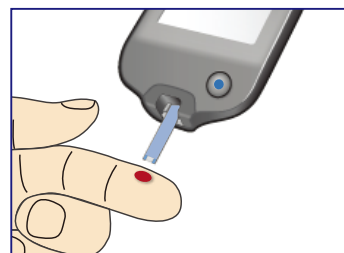


5 穿刺器具を用いて血液を1滴採取し、電極の先端にある白い部分に付けます。

十分量の血液が付着すると、画面には蝶が表示され、約5秒後に測定結果が表示されます。

血糖の測定範囲は20～500mg/dLです。

※血糖測定電極を使用しても、LOやHIが表示された場合は医師に連絡してください。



6 測定結果を確認後、使用済み電極を抜き取り、廃棄します。

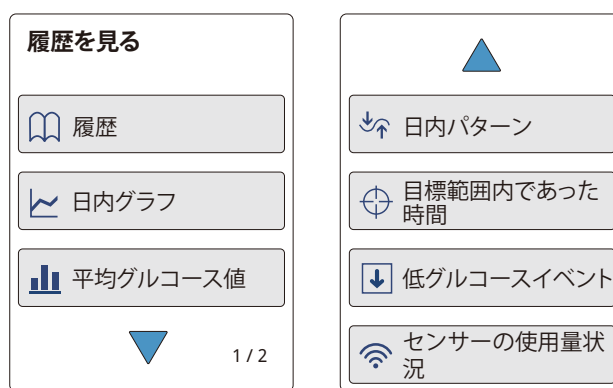
※開封済みの包装を使って抜き取ると、廃棄の際に便利です。

スキャン履歴・オプションの確認

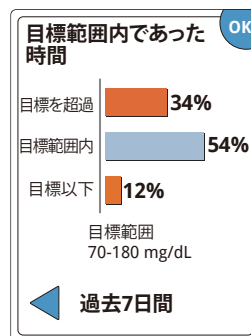
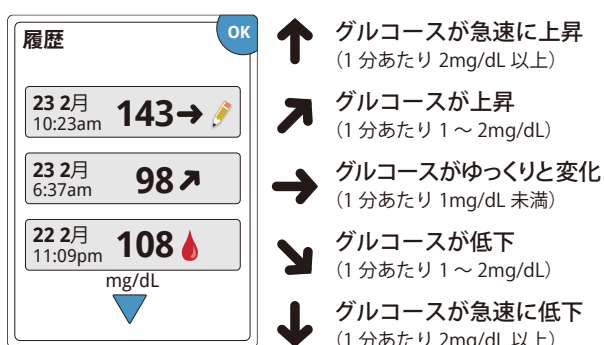
- 1 Readerのホーム画面で
「履歴を見る」をタッチする。



- 2 矢印 (▲▼) をタッチして
履歴オプションを表示し、
確認したい項目をタッチする。



履歴オプション例



間質液中のグルコース値や指先測定での血糖値、ケトン体値などが確認できます。なお、数値右の矢印はグルコース値が推移する方向を示します。

目標グルコース値の範囲より高い、低い、もしくは範囲内にあった時間の割合が確認できます。

センサーの装着・交換

新しいセンサーの装着



センサーパック



センサー
アプリケーター

- ・センサーパックとセンサーアプリケーターのセンサーコードが一致していることを確認してください。
- ・センサーパックまたはセンサーアプリケーターに破損が見られたり、開封されている場合は使用しないでください。

1

インスリン注入部位から
2.5cm 以上離してください



石鹸と水で清浄してからアルコール綿で上腕の後ろ側を拭き、しっかり乾かします。

※センサー装着部位として、ほくろ、傷跡などは避けてください。

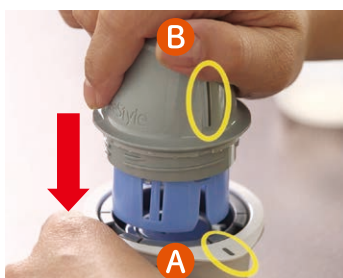
2



センサーパック（以降A）のフタをはがし、センサーアプリケーター（以降B）のキャップを回して外します。

3

針に注意



テーブルなど平らで硬い場所の上で、Aの黒線マークにBの黒線マークを合わせ、Bを上から強く、止まるまで押し下げます。
Bを持ち上げて準備完了です。

4



Bを腕にあて、センサーが装着されるまで下までしっかりと押し込み、その後、そっと引き離します。

5



しっかり装着されていることを確認してください。

6



センサーを装着したら、Readerのホームボタンを押して電源を入れ、「**新しいセンサーを起動**」をタッチします。

※センサーが終了する前に新しいセンサーに交換した場合は、いつものグルコース値測定と同じ方法でスキャンしてください。

7

服の上からでもスキャンできます

4cm 以内



Readerをセンサーに近づけてスキャンします。

※正常にスキャンされないと、再度スキャンを促すメッセージが表示されます。OKボタンをタッチしてホーム画面に戻り、再度「新しいセンサーを起動」をタッチするところから操作してください。

8



センサーの起動が完了するまで60分間待ちます。その後、グルコース値の測定が可能になります(▶ p18参照)。

血糖自己測定が必要な場合は、お手持ちのReaderの添付文書の「使用目的に関連する使用上の注意」をご確認ください。

使い終わったセンサーの取り外し



センサーの**使用期間が終了する前に必ずセンサーをスキャンして**グルコース値を記録してください。

Readerに「センサー終了」と表示されたら、センサーの粘着部の端を引き上げてセンサーを取り外します。

※皮膚に残った粘着剤は温かい石鹸水またはアルコール綿で拭き取ってください。

※センサー内部にはボタン電池が内蔵されています。

お住まいの地域の規則あるいは各医療機関の指示に従って廃棄してください。

Readerでの測定

1

ホームボタンを押してReaderの電源を入れます。



2

画面に「**センサーをスキャンして
グルコース値を測定します**」と表示されていることを確認してください。



3

Readerをセンサーに近づけて、グルコース値をスキャンします。



4

現在のグルコース値と過去8時間分の変動を示すグラフなどが表示されます。



少なくとも8時間に1回の測定で連続的なデータが記録できます。

お困りのときはこちらへ

お客様
相談窓口

0120-37-8055

営業時間 8:00-20:00 (平日) 8:00-17:00 (祝日) ※土日除く

製品情報
サイト

フリースタイルリブレ

検索

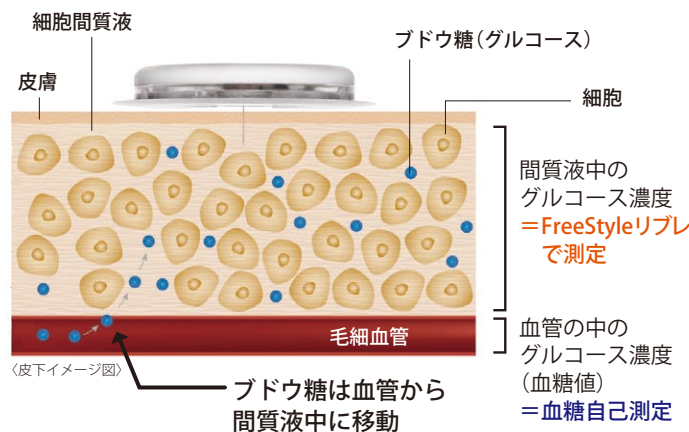
<https://www.myFreeStyle.jp/>

使用方法
動画

患者さん・ご家族の皆さま向けサイト内で
サポート ● **使用・活用方法動画一覧** より確認できます。
<https://www.myFreeStyle.jp/patient/support/movie.html>

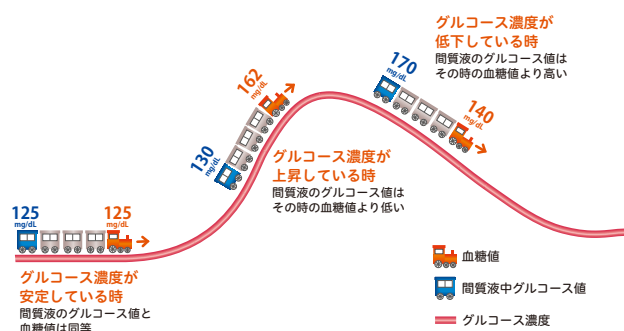


FreeStyle リブレの特徴



- **グルコース値の測定**は、**センサーをスキャン**して行います(▶p18)。
センサーには過去8時間分のグルコース値の記録が保存されています。少なくとも8時間に1回の測定で連続的なデータが記録できます。
- 装着したセンサーは**14日後に交換**する必要があります(▶p16-p17参照)。
- センサーは**耐水性**で、水深1メートル、30分間までは問題なく使用できます。
装着したままの**入浴、シャワー、水泳**なども可能です。

- FreeStyle リブレは間質液中のグルコース濃度を血糖値に換算しています。間質液と毛細管血との生理学的な違いにより、グルコース値に差が生じる場合があります。



お困りのときは
こちらへ………
p19

Readerでの
測定………
p18

センサーの
装着・交換………
p16

スキャン履歴・
オプションの確認
p15

Readerでの
血糖自己測定………
p14

リブレビュー
について………
p12

Q & A
………
p10



FreeStyleリブレ 使い方ガイド



お客様相談窓口 ☎ 0120-37-8055

[営業時間 8:00～20:00 (平日)、8:00～17:00 (祝日) ※土日除く]

本社：
アボットジャパン合同会社
ダイアベティスケア事業部
東京都港区三田 3-5-27

製造販売元：
アボットジャパン合同会社
ダイアベティスケア事業部
千葉県松戸市松飛台 278



life. to the fullest.®

Abbott